

く に 報 み

広 報

NO.475

平成25年2月
2013.

2



新成人の思い出を開封

旧森江野小学校を卒業した新成人の皆さんは、晴れの成人式が行われたこの日、卒業以来保管していた当時の思い出がたくさんつまったタイムカプセルを開封しました。中からは将来の自分を予想して書いた文章や寄せ書きしたソフトボール、記念写真などの宝物が出てきて、当時の思い出をなつかしむ姿が見られました。

◆ 今月のおもな内容 ◆

平成 25 年国見町成人式	2
まちづくり懇談会	4
役場庁舎建設基本設計を策定	8
あなたのペットはどうですか?	10
所得税・住民税の申告相談	12
復興のあしおと	14
まちのわだい	19
笑顔のひろば	22
保健だより	23
くらしの情報	24
生涯学習つうしん	26

新成人 10 人に聞きました！

これから大変なこともあると思いますが、それにめげず立派な大人になりたいです。



村木 拓馬さん

色々なことにチャレンジしてみたいです。



牧野 由佳さん

調理師を目指しているので、その勉強をがんばりたいです。



小野 丈悟さん

家族を一番に考えられる人になりたい。



菊池 有美さん

成人になったので、何か新しいことにチャレンジしてみたいです。



佐藤 大介さん

今年の春から小学校の時から夢だった看護師として働くので、一生懸命頑張りたいと思います。



実沢 梨夏さん

社会人として責任を持って行動していきたいです。



熊坂 尚人さん

大切な家族に少しずつ恩返しして行けるよう仕事に励んでいきたいです。



阿部 杏奈さん

国見町のために何か恩返しをしてみたいです。



岩城 賢明さん

社会に貢献できる大人になりたいです。



佐藤 真澄さん

これからの目標は？



祝 国見町成人式



久しぶりに恩師や友人と再会



晴れ着姿で仲良く記念撮影



成人としての決意を胸に君が代斉唱

今年の選挙啓発メインキャラクターは「くにみもたん」に決定！

1月13日に行われた成人式では、新成人の皆さんが選挙への関心と、成人としての責任を持つことを目的に模擬投票を実施しました。投票の内容は国見町マスコットキャラクターの「くにみもたん」と明るい選挙推進協会マスコットキャラクターの「めいすいくん」を候補者に見立て、平成25年の選挙啓発のメインキャラクターを選ぶものでした。

その結果、「くにみもたん」の得票が「めいすいくん」を大きく上回ったため、今年は「くにみもたん」を選挙啓発のメインキャラクターとして採用することとなりました。

成人式模擬投票 投票・開票結果

【投票結果】

有権者数 (成人式出席者数)	投票者数	投票率
87人	40人	45.98%

【開票結果】

1	くにみもたん	36人
2	めいすいくん	2人
小計(有効投票数)		38人
無効		2人
計(投票総数)		40人



記念パーティーで太田町長と歓談する新成人の皆さん



タイムカプセルを開封し当時の思い出を懐かしむ旧森江野小学校卒業生

112人が大人の仲間入り 平成25年 国見町成人式



平成25年国見町成人式が1月13日、観月台文化センターで開催され、112人が大人の仲間入りをしました。

式では、太田久雄町長が「ふるさとを思う気持ちを忘れずに町の活性化のために尽力してほしい」と式辞を述べ、新成人代表の山田将さんに成人証書が授与されました。また、遊佐真紀子町教育委員長より子町教育委員会委員長より代表の中山宗俊さんに記念品が贈られ、八島博正町議会議員、小野光一町選挙管理委員会委員長が祝辞を述べました。

続いて、新成人を代表して千葉春樹さんが「社会に責任の持てる成人になること、明るい未来のために努力し続けることを誓います」と答辞を述べました。

式終了後は、記念写真撮影や記念パーティーが開かれ、新成人の皆さんは久しぶりに友人や恩師と再会し、会話を楽しんでいました。



新成人を代表して答辞を述べる千葉春樹さん



遊佐真紀子町教育委員長から記念品の贈呈を受ける中山宗俊さん



太田久雄町長から成人証書を受ける山田将さん

みんなで語った！
わたしたちの国見町

まちづくり 懇談会

1月18日から26日にかけて町内5つの地区でまちづくり懇談会が「震災からの復旧・復興」をメインテーマに開催されました。

懇談会では、太田町長が「復興の取り組み、元気思いやり事業」と題し、現在までの取り組みと今後のまちづくりについて説明しました。また、参加者からは、様々な質問や、貴重な意見をいただきました。

そこで、懇談会で出された意見や質問について紹介いたします。

震災からの 復旧・復興

Q 防火水槽や水路の泥上げを全然できない状態です。仮置場ができればそこに持ち込みは可能なのか。
A 堆積している泥にはセシウムが付いており、泥をあげると線量が高いので、子どもがそばを通る時に危険なため泥上げはしないようにしています。もちろん仮置場ができれば置くことは可能です。中間貯蔵施設ができれば仮置場からすべて運べます。まず、仮置場を作る事が前提です。皆さんと協力して進めていきます。

Q 現在、集会所及び遊戯施設がある場所に一時保管場所として汚染土壌がブルーシートに包まれて保管してあります。至急穴を掘り埋めて、表土に汚染されていない山砂を敷くよう進めて頂きたい。
A 地下に保管する方式で今年度実施したいと思っております。

Q 各個人の住宅敷地内の放射線量を測定した線量マップが必要なのではないですか。
A 現在のところは、町が全部の個人住宅の放射線量を測るという考えはありません。ただし、平成27年度まで全戸除染を実施する計画となっております。

Q 放射線量のデータを地図に落として示すなど、わかりやすい形で町民にお知らせしてほしい。例えば、町内会単位の代表的な場所などの線量を月に1回測定して知らせしてほしい。
A 昨年、町内全域を500メートル四方に区切った線量マップでお知らせしています。今年度も12月に町内全域を測定しているのので、広報等でお知らせします（広報くみにみ2月号16・17ページ掲載）。町内会単位の測定については検討させていただきます。

Q 仮置場を決めるには、どのような形でやっていくのか、いつまでやるのかをお聞きしたい。

ます。子どもさんの遊び場、遊具のある部分については、これから順次優先的に除染していきます。

Q 観月台文化センターの放射線量と県北浄化センターの線量の高さが同じという話を聞いた。観月台文化センターは現在、役場仮庁舎があり、みんなが集まるので線量を下げしてほしい。
A 現在、公共施設の除染を進めています。年度内に終了する予定です。観月台文化センターも着々と除染を進めており、線量はどんどん下がっています。



除染作業の様子（観月台文化センター）

A 仮置場の設置については、ある程度の基準を決めながら議論したいと考えています。2月に各地区で方部懇談会を開き、具体的なスケジュールや除染、仮置場などを皆さんにご提示して進めていきたいと思っております。

Q 不適切な除染作業が問題になっていきます。国見町の監視・監督体制についてはどのようなになっているのかお聞きしたい。
A 川へ流すなど不適切な除染はとんでもないことです。国見町は地元の業者に直接委託し、十分連携して監視のもと作業を進めており問題ありません。



除去工事等の保管



Q 小学校統合後、旧小学校施設に線量測定器がそのまま残っています。人が集まる場所に移動して線量を確認できるようにした方がよいのではないのでしょうか。
A 線量測定器は国で設置しているため、移設できるかどうかは、国に相談します。また、どの場所が良いのかも検討が必要となります。

Q 国見小学校スクールバスの乗降場所で、やや線量の高い場所があるので気にする必要があります。
A 子どもが通るところなどを優先的に除染できるように調整していきます。



Q 仮設住宅入居者の中には農家の方も多く住んでいる。仮設ではなく定住してもらい、町内にも耕作放棄地があるので国見町で耕作できないか。
A 仮設住宅の方には、それぞれ事情があり、国見町にいる町外からの避難者の方々は戻ることを前提としているため、災害住宅は設置しないことにしています。我が町の農政の問題は、若い農業者にしっかり地域農業を支えてほしいと考えています。国や県、JAとの連携も含め町政だけでなく、みんなで進めていく必要があります。

ます。子どもさんの遊び場、遊具のある部分については、これから順次優先的に除染していきます。



汚泥が仮置きされている県北浄化センターテント内



まちづくりについて

Q 福島県では全市町村に企業立地補助制度ができていないと聞いています。町内から人口が流出しないように企業を誘致してほしい。そうすれば税収も入ってきます。

A 国見町には、企業誘致に必要な工業団地の用地がないという問題もあります。また、立地補助金があっても、企業が福島に来るのを躊躇している現状もあり、推移をみて検討していきます。



Q 大木戸地区の敬老会が、国見小学校の体育館で行われましたが、お年寄りには遠くて、知らない人と一緒に過ごすのも嫌な方もいると思いますので、地元で行えるようにしてほしい。

A 敬老会については、震災による会場の被災により昨年は3地区(藤田・小坂・大木戸)合同で行いました。大木戸ふれあいセンターも検討しましたが、地区の方と相談して合同開催になりました。今年についても、ご相談させていただきます。

Q 高齢化社会ということとで、一人暮らしや、老人夫婦などが増えてくると思いますが。無料の巡回バスなどができるませんか。

A バスはなかなか難しいと思います。現在進めているまちなかタクシーは先進的な取り組みです。決して費用も高くはありません。皆さんの利用率も上がってきています。商工会も努力しており、商工会の目玉の事業となっておりますので、ご利用いただきたいと思います。

Q 道の駅の構想について、進捗状況を聞きたい。

A 道の駅の構想については出来つつあります。道の駅には、トイレと物販だけでなく、例えば、食堂、子ども遊び場、喫茶ルーム、働く場、歴史館などの交流の場を設けたいと思います。国見町にとつて何が必要かを考え、このために道の駅の機能について検討する部署を設けたいと思います。資金面の検討も必要なので、国・県と連携しながら皆さんの利益となるように、拙速に進めるのではなく十分検討していきます。

Q 人口が減少しており、お嫁に来る人が少ない。町の少子化対策を聞きたい。

A 結婚していない方への対策も意識する必要があります。子育て支援からのアプローチの方法もあります。町から出て行った人を戻すこと、出ていかないようにする対策が必要だと思います。皆さんも一緒に子どもや孫に国見の良さをPRしていただき、国見町に戻つて来るようにしてほしい。



多くの方が利用しているまちなかタクシー

Q 耕作放棄地が多く、町内でもセイタカアワダチソウが繁茂しているが、地主が不明である。畑の草刈りに対する助成金は出せるのか。

A 耕作放棄地を解消するために田んぼや畑として使いたいということであれば助成する制度があります。単なる草刈りのためだけでは対象になりません。

Q 鳥獣、猪や猿など去年から増えている。鳥獣対策を強化して頂きたい。

A 一昨年度から山林内に緩衝帯の設置をしております。

て来るようにしてほしい。故郷を思う気持ちは、小さい時からの家庭教育が大切です。町民全体で努力することが必要ですし、交流の場も必要だと考えています。

Q 旧小学校校舎の使い道について、進捗状況を教えてください。

A 旧小学校施設については、現在、検討委員会を設置し議論しています。3月末頃に検討委員会から大体的な方向性を示した建議が出されることになっており、それを受けて検討を進める予定です。新年度は小学校施設ごとに検討会を設けて、地区の特性やメリットを生かした施設にするよう具体的に考えていきます。



跡地利用が検討されている旧大木戸小学校校舎

が、農作放棄地に獣が隠れてしまうという事もあります。国や県の補助事業を使い、地区で話し合いをさせて頂きながら鳥獣被害対策を進めて行きたいと考えております。

Q 人が集まる場所をつくってほしい。国見に魅力的な場所がない。観月台公園から阿津賀志山などに向かうハイキングコースなどはどうでしょうか。他県からも集まれるような企画を練って、ニュースとして取り上げられるような工夫が必要ですか。タレントなどと呼んではどうでしょうか。中学生などから意見を聞いてほしい。

A ハイキングコースについては研究していきたいと思えます。人が集まる場所も必要だと思います。子どもたちからのアイデアも研究していきます。

Q サクラランボや桃、りんご狩りができるスペースがあったら素晴らしいと思う。町民が集まる場所も必要です。

Q 藤田総合病院に眼科がなくなつて困っている。藤田病院は設備も整っているのに、もう一度藤田病院に良い先生を呼んでほしい。

A 医師が少なく、難しい状況ではありますが、福島医大に行つてお願いしています。医師の調整は医大との連携が必要です。医師の養成は国の問題でもありません。町だけでは解決できない問題もあります。

Q 介護保険適用者については、デイサービスなどを受けられるが、認定されていない高齢者ケアの機会がない。生きがいデイサービスが震災以降中止されており、憩いの場を設けてほしい。

A 元気老人対策は重要ですが、スポーツ・文化だけでなく、元気なお年寄りの方が働けるような場所での交流し・働いて・元気をつけるシステム作りの議論をやつていきたい。現在、生きがいデイサービスは休止していますが、来年度再開に向けて、場所の確保等を検討しています。

要ではないか。花見などで、情報交換する場も必要なので、規模を拡大していければどうか。

A ご意見を踏まえて検討していきたい。サクラランボ、桃などの案も素晴らしいと思います。一つの案として承ります。

Q 4月から幼稚園が統合となり、通園する園児が車で送迎となるようなので、道路の交通量が増えます。幼稚園周辺の道路を整備するなど安全確保をお願いしたい。

A 幼稚園協の道路は拡幅します。交通安全協会とも連携を図り、事故がないように配慮していきます。

Q 国見小学校で制服を購入するとのことですが、小学生の多い家庭では高額になる。町で費用を助成してもらえないですか。

A 制服については、時間をかけてPTAとも議論してきましたところで、制服の助成については研究していきます。

「震災からの復旧・復興」や「まちづくり」について、皆様から多くの意見をいただき、ありがとうございます。



ライトアップされた「阿津賀志山ビックツツリ」と「役場庁舎跡地のLED電飾」



Q 国見町に老健施設が少ない。高齢化社会となつており、退院した時に機能が低下しており介護が大変です。施設に入るようになると遠くに行くようになります。家族として面会に行くのも大変です。退院しても安心して過ごせる施設が必要ではないでしょうか。

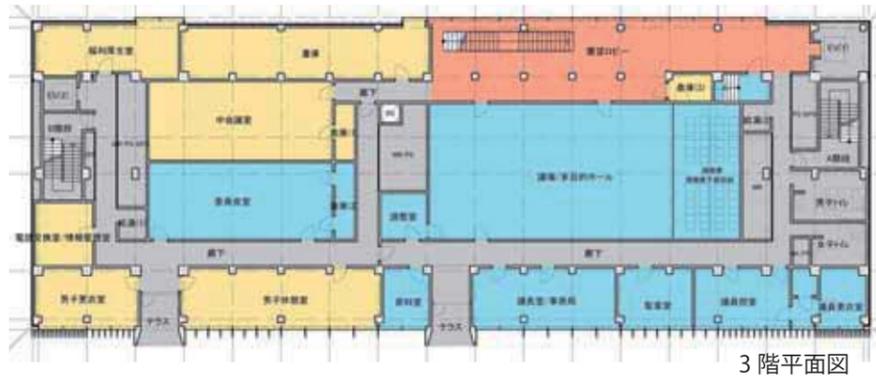
A 特別養護老人ホーム「国見の里」がお盆明け頃にオープンします。町が積極的に誘致したものであります。団塊の世代が高齢化すれば、ますます施設は必要になると思います。

Q 「思いやりのある事業」ですが、阿津賀志山ビックツツリなども活用しながら元気の出る事業を展開してほしい。構想があれば聞かせてください。

A ビックツツリにつきましては、町民の方からも評判が良かったです。駅前や商店街の一部に、11月頃から電飾などをやってみたく考えています。町を明るくしていきたいと思えます。

「震災からの復旧・復興」や「まちづくり」について、皆様から多くの意見をいただき、ありがとうございます。

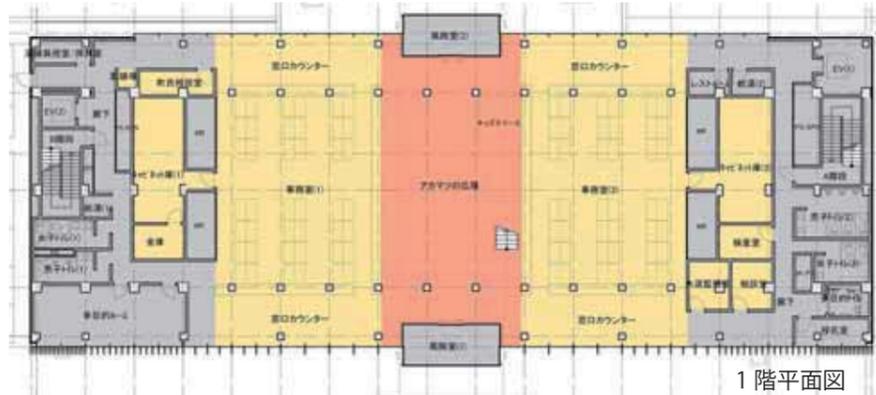
役場庁舎建設基本計画を策定！ 実施設計を発注！



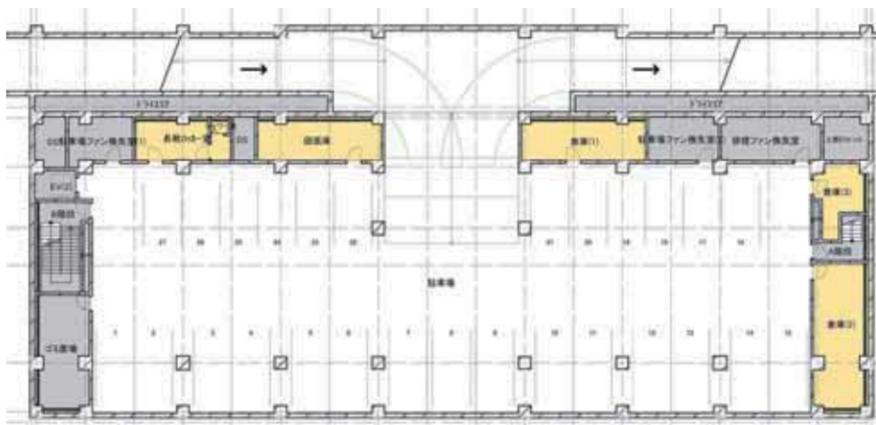
3階平面図



2階平面図



1階平面図



B1階平面図



程度となりますが、これについては財政調整基金で対応する予定です。
 実施設計については1月31日に契約を締結し、7月末までに完了する予定で作業を進めており、目標とする27年度の供用開始に向けて取り組んでいくこととしています。
 なお、基本計画の詳細、パブリックコメント及び基本設計概要については町ホームページをご覧ください
 2114)までお問い合わせください。

基本設計については、現在の敷地に再建するとした基本構想をもとに作業を進め、1月25日に完了し、基本計画を踏まえた庁舎及び敷地のレイアウトについて決定したところです。
 新庁舎建設の基本的な考え方については、第1に「町民福祉の向上を目指した機能性・効率性の高い庁舎」として、窓口空間や執務空間についての計画、第2に「すべての町民に開かれた庁舎」として、ユニバーサルデザインや町民の参画と協働、議会等についての計画、第3に「防災拠点機能を備えた庁舎」として、安全性や防犯性及び災害対策拠点につ

東日本大震災で被災した庁舎の復旧については、平成23年12月に建議を受けた基本構想に基づき、昨年7月に基本設計の企画提案（プロポーザル）を行い、ジェイアール東日本建築設計事務所と契約を取り交わし、基本設計を進めてきました。
 基本設計と並行して、庁舎建設にかかる基本計画について、基本構想をもとに、庁内の研究会、検討委員会で議論を進めながら、庁舎復旧検討委員会（朽木勝之委員長）で最終的な基本計画（案）の検討を行ってきました。また、町内からパブリックコメントを募集し、町民の皆さんのご意見を踏まえたうえで最終的な基本計画が、1月24日に開催された第5回国見町庁舎復旧検討委員会において決定され、太田町長に対して建議書が手交されました。
 基本設計については、現在の敷地に再建するとした基本構想をもとに作業を進め、1月25日に完了し、基本計画を踏まえた庁舎及び敷地のレイアウトについて決定したところです。



太田久雄町長（右）に建議書を手渡す朽木勝之委員長（左）

庁舎の面積については、震災復興特別交付税の算定基準をもとに、公用車駐車場の面積を加算した4,920㎡程度となる予定です。
 駐車場については、国道4号拡幅工事による敷地の減少もあることから、近接する町有地等も利用し、敷地内には110台程度駐車可能なスペースを確保することとしています。
 事業費については、総額18億円程度を見込んでおり、うち10億円程度が震災復興特別交付税で措置される予定です。残りの費用についても起債額の70%については交付税措置が行われる予定であり、町単独での財源は3億円

いての計画、第4に「町民に親しまれる庁舎」として、町民に親しまれる庁舎についての計画、第5に「環境のまちにふさわしい庁舎」として、環境に配慮した庁舎についての計画、以上の5点のコンセプトに沿って実施設計を進めることとなります。
 敷地面積は、国道4号の拡幅工事で減少する分を差し引いた約8,450㎡となる見込みで、庁舎のほか、室外機、駐車場、駐輪場、通路、歩道、広場、緑地などが配置されます。
 レイアウトの基本的な考え方としては、1階には町民の利用が多い窓口部門である住民生活や税務、保健福祉、会計などの部門を配置し、町民利用に便利な配置とします。2階には事業部門や教育委員会、総務部門などを配置します。3階には議会議能や会議室等を配置します。



あなたのペットは どうですか？



～ペットのマナーについて考える～



いつもそばにいて、私たちの生活を豊かにしてくれるペット。その一方で、ペットのフンや尿の放置等による苦情が町に寄せられています。ごく一部の飼い主のモラルの欠如が、地域のみなさんに多大な迷惑をかけることとなります。そこで今回は、ペットのマナーについて、犬・猫の飼い主の方にお話を伺いました。



猫の飼い主のみなさんへ

- 室内で飼いましょう
フンや尿等で近隣の方に迷惑をかける場合があります。また、交通事故に遭うことも考えられるので、できる限り室内で飼うようにしましょう。
- 不妊・去勢手術を受けましょう
不本意な出産により飼えなくなる猫が増えています。不幸な猫を増やさないためにも、不妊・去勢手術を受けましょう。
- 野良猫にエサをあげるのはやめましょう
エサをあげることによって、結果的に野良猫が繁殖してしまい処分される不幸な猫が増えています。また、その周辺に棲み着いてしまい、フンや尿等で近隣の方に迷惑をかけることがあります。エサをあげる場合は、不妊・去勢手術をし、飼い主として最後まで責任を持って飼ってください。(定期的にエサをあげていると飼い主とみなされます)

犬の飼い主のみなさんへ

- 必ず犬の登録をしましょう
登録はその犬について生涯一度となります。
- 毎年一回必ず狂犬病予防注射を受けましょう
町では毎年5月頃に集合注射を行います。その時に受けられなかった場合は動物病院で受けてください。
- 散歩中のフンは必ず持ち帰りましょう
- 必ずつないで飼いましょう
犬の放し飼いは禁止されています。
- しっかりしつけをしましょう
近隣の方に鳴き声等で迷惑をかけないように注意しましょう。

犬について 聞きました

プロフィール
・名前：小太郎
・犬種：チワワ
・年齢：8歳
・性別：オス



かわい ただゆき
川井 忠行さん
山崎耕谷町内会 生活環境推進員

Q..犬の登録はしていますか？

A..もちろんしています。法律で義務付けられていますから。

Q..狂犬病予防注射は毎年受けていますか？

A..毎年5月頃に町でやっている集合注射に行き、受けています。

Q..去勢手術は受けていますか？

A..室内で飼っているのを受けていません。

Q..犬を飼育するうえでのマナーについて気をつけていることはありますか？

A..犬の種類だったり発情期だったりストレスだったり様々な原因があるでしょうから、一概にこうすれば吠えなくなると言うのは難しいでしょうね。ただ、飼い主自身が「犬を飼っていることで近所の方々に少

いることはありますか？

A..散歩に関しては、必ずリードにつないで行きま。犬が苦手な人もいるだろうし、動物同士のケンカや交通事故を防ぐこともできますからね。また、散歩中のフンは必ず片づけています。フンを入れる袋とフンを拾うトイレットペーパーを持って行きます。これらは、犬の飼い主の最低限のマナーだと思っています。

Q..「夜に近所の犬が吠えていてうるさい」という苦情が町に寄せられているのですが、いわゆる「無駄吠え」についてどうお考えですか？

A..犬の種類だったり発情期だったりストレスだったり様々な原因があるでしょうから、一概にこうすれば吠えなくなると言うのは難しいでしょうね。ただ、飼い主自身が「犬を飼っていることで近所の方々に少

なからず迷惑をかけている」という自覚を持つということが大切ではないでしょうか。また、どうしてもひどいときは獣医師さんに相談してみるのも手だと思います。

猫について 聞きました

プロフィール
・名前：ななよ
・種類：雑種
・年齢：約2歳
・性別：メス

Q..不妊手術は受けていますか？

A..発情期の鳴き声やうるさいので、受けようと思いついたのですが、定期的に無理だというのでした。ただ、ホルモンを抑えるカプセルを埋め込むものがあるそうなので、その手術を受けました。その結果、鳴き声もうるさくなくなりました。また、費用もそれほど高いわけではないので助かりました。

Q..猫を飼育するうえでのマナーについて気をつけていることはありますか？

A..室内で飼うことですね。猫は外で飼うと、いろんな所でフンやおしっこをしてしまうので、近所の方とのトラブルの原因となってしまうと思います。それに、外に出れば交通事故に遭ってしまうかもしれないです。

Q..「野良猫にエサをあげている人が近所について困っている」との苦情が町に寄せられているのですが、どうお考えですか？

A..かわいくてついついエサをあげてしまう人の気持ちですが、分らないでもないの。しかしエサをあげてしまると、その周辺に棲み着いてしまい、フンやおしっこなどで近所の方に迷惑をかけるかもしれないです。それに繁殖行動も起こすだろうし、そうすればまた野良猫が増える。そのな

○福島県北保健所では次の事業を行っています。

『犬及びねこの譲渡事業』
保健所に収容された犬及びねこの飼い主さんを募集しています。

◆問い合わせ
☎534-4305
福島県北保健所
食品衛生チーム

● 申告相談日程 ●

受付月日	町内会名 (午前9時～11時30分)	町内会名 (午後1時～4時まで)
2月13日(水)	小坂	太田川
14日(木)	前田・泉田上	泉田中・泉田下
15日(金)	板橋	板橋南
18日(月)	鳥取	内谷西・内谷東
19日(火)	貝田	
20日(水)	大木戸	高城・山根
21日(木)	光明寺	大坂
22日(金)	鶉町・上野・滝山	源宗山(西・東・北)
25日(月)	山崎北・小林 山崎館	山崎小館・山崎宮館 宮前
26日(火)	山崎沢田	山崎耕谷
27日(水)	石母田(東・表・北)	石母田原・石母田西
28日(木)	駅前・錦町	大町南
3月1日(金)	大町北・本町	宮町南・宮町北 藤田宮前
4日(月)	藤田光陽・町東	宮東
5日(火)	原町	中部
6日(水)	並柳	築館・北部
7日(木)	川内	
8日(金)	森江野第1	森江野第2
11日(月)	森江野第3	森江野第4
12日(火)	徳江北	森江野第7
13日(水)	森江野第8	森江野第9
14日(木)	森江野第10・第11	森江野第12
15日(金)	予備日	

**申告相談に
関するお願い**

昨年同様に混雑が見込まれますので、特に次の2点についてご協力お願いします。

① 農業などの事業所得の方
収支内訳書の整理をお願いします。

② 医療費控除を受けられる方
領収書を整理し、医療費合計額の整理をお願いします。

◆ 問い合わせ
税務課課税係
☎ 585-2778

※会場は、観月台文化センター3階研修室1・2です。
※混雑を避けるため、指定期日に申告相談されるよう
ご協力をお願いします。なお、当日都合の悪い方は
期間中の都合の良い日に申告してください。
※車でおいでになる場合、観月台文化センター正面駐
車場には、十分なスペースを確保できませんので、
ご了承ください。
※税務署(会場:「ウィル福島」福島市卸町)注)で申
告される方や税務署から案内を受けている方は国見
町で申告相談する必要はありません。
注) 土日・祝日を除き3月15日(金)まで行ってい
ます。ただし、2月24日、3月3日のみ日曜日でも
受付をします。
※下記の方は、「簡易申告書」を提出願います。
① 無収入の方。
② 収入が、遺族(障害)年金、雇用保険(失業給付金)
に限る方。
申告相談は、不要となります。
提出先: 申告会場もしくは税務課窓口
簡易申告書は、税務課窓口、町申告会場及び町HP
(TOP 頁~くらしのガイド~税~所得税住民税の申告
相談)より入手願います。

☐ 「確定申告書作成コーナー」を御利用下さい ☐

会場内に設けるパソコンから簡単に確定申告書が出来上がります。
主に給与や年金所得の還付申告を対象としてスタッフによる操作サポートがござい
ます。待ち時間が大幅に短縮されます。
国税庁HPサイト「確定申告書作成コーナー」では、会場に足を運ぶことなくご自宅のパソコンからご利用が可能となっています。
☐ この機会にe-Taxを御利用下さい。 ☐

申告期限: 平成25年3月15日(金)

おうちで作成
ネットで申告



国税電子申告・納税システム

介護保険要介護認定者のみなさんへ

障がい者控除・おむつ医療費控除のお知らせ

介護保険制度で要介護に認定された方に、所得税の確定申告や町民税の申告に際し、税控除を受けるための証明書を申請により、発行します。

▼ 障害者控除
▼ 介護保険法に基づく要介護認定を受けた方で、障がいのある方・いつも病床にいて介護が必要な方です。なお、身体障害者・精神障害手帳を持っている方または以前に交付を受けた方は申請の必要はありません。

▼ 発行証明書
障害者控除対象者認定書
▼ おむつ代の医療費控除
おむつ代の医療費控除を受けるのが2年目以降の方で、要介護認定を受け、一定の要件を満たしている方は、記載された主治医意見書を確認し確認書を交付します。

▼ 発行証明書
要介護認定にかかる主治医意見書の確認書

◆ 問い合わせ
保健福祉課長寿介護係
☎ 585-2125



所得税・住民税の申告相談

◆ 期間 2月13日(水) ~ 3月15日(金)

◆ 会場 観月台文化センター 3階(研修室1・2)

申告が必要な方

税務署からの「確定申告書案内(封筒・ハガキ)」および町からの「案内ハガキ」が届いていない場合でも、次に該当する方は申告が必要となります。

**申告相談に
持参するもの**

① 「農業、営業などの事業を営んでいる」、「地代、家賃、配当などの所得がある」などに該当する方は、申告が必要となります。

② 給与所得者の場合は、「給与の年収入額が2,000万円を超える」、「給与の他に所得がある」、「2ヶ所以上から給料をもらっている」、「年末調整ができなかった」などに該当すれば、申告が必要となります。

③ 土地や建物を譲渡した場合は、「公共事業のために譲渡したことにより、所得が出ない」場合でも、申告は必要となります。

④ 収入を証明するもの・経費の領収書など

① 農業をされている方
農産物の収入金の証明書など1年間の収入の分かるもの、水稲・果樹などの受取共済金の明細書または支払共済金の領収書、大農具などを平成24年中に購入された方は、その領収書、雇人及び作業委託がある場合は、その領収書(ライセンスセンター、育苗センターなど)

② 営業(商売)などをされている方
1年間の売上げ、仕入れ、経費などの諸帳簿

③ 土地・建物などを譲渡している場合
売買契約書または買取証明書など

④ 給与やパートなど、年金受給者の方
源泉徴収票または支払証明書など

⑤ 雑損控除を受けられる方は、り災証明書・被害を受けた資産の取得価格・取得時期の分かるもの、被害を受けた資産の修繕費・取壊し費用などの分かるもの。被害を受けた資産について受取る保険金額の分かるもの。

⑥ 繰越控除を受けられる方は、平成24年分の確定申告書等、繰越損失額の分かるもの。

⑦ その他必要と認められる書類
※農業や営業をされている方など、東電補償金関係の書類をお持ちの方はご持参下さい。

復興のあしあと

「復興のあしあと」では、震災からの復旧・復興に向けた町の取り組みを紹介します



東日本大震災復旧復興対策推進 国見町民会議を設立

除染の推進 浄化センター汚泥の全量搬出を



東京電力株式会社へ要求書を提出

1月23日に石崎芳之東京電力株式会社執行役員副社長福島復興本社代表が国見町を訪れました。太田久雄町長(町民会議会長)は、町の現状と課題を訴え、要求書を石崎代表へ手渡しました。

要求書には、①原発事故に伴う被害の賠償の迅速化、②農商工業者に対する賠償、③流域下水道県北浄化センターの汚泥の搬出と、悪臭等による被害を受けている周辺住民への早期賠償の3項目を盛り込みました。

要求書を受け取った石崎代表からは、「現場の実態を把握して、迅速に対応したい」との回答がありました。



町民会議役員会開催 組織体制を確立

町民会議の設置を受け、1月10日に第一回の役員会が開催されました。役員体制の強化を図るため、新たに2名の方を理事に選任し、21名としました。引き続き町民会議方部会の組織及び運営について協議を行い、町民会議内規を承認した後、各地区の方部長の選出と方部会事務局の体制を決定し、方部長【別表に記載の方】が選出されました。

国見町は、かつて経験したことのない東日本大震災や東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により、極めて重大かつ困難な課題に直面しています。そのため、国見町が一体となり課題を解決するため、町民会議が設立されました。設立会議では、町民会議の設置要綱の承認後、役員を選任が行われ、会長に太田久雄町長、副会長に八島博正町議会議長、中村洋平町内会長、佐藤三郎阿武隈川上流域下水道県北浄化センター環境を守る会会長の3名、理事に町議会議長、町内会長、各方部会担当に配置しました。

また、町職員も一体となつて推進するため、管理職員を事務局幹事とし、各方部会担当に配置しました。今後の取り組みとしては、1月16日～18日に各地区の町民会議員を参集しての町民会議の開催、2月中旬に全町民向けの地区ごとの方部懇談会の開催、1月30日に流域下水道県北浄化センターの現地視察の実施、子どもの遊び場の早急な除染に順次取り組むことが承認されました。

国見町の早急な復旧・復興と町民の安全・安心の確保に向けて、東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議(以下「町民会議」という。)が昨年の12月27日に設立されました。町民会議は町議会議長や町内会長、阿武隈川上流域下水道県北浄化センター環境を守る会、各種団体の代表で組織され、町民が一体となりオール国見により「除染の推進」や「浄化センター汚泥の全量搬出」などに取り組むこととなります。1月10日には役員会、1月16日～18日には方部会が開催され組織体制が整い、今後、活発な取り組みが期待されます。

国見町は、かつて経験したことのない東日本大震災や東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により、極めて重大かつ困難な課題に直面しています。そのため、国見町が一体となり課題を解決するため、町民会議が設立されました。設立会議では、町民会議の設置要綱の承認後、役員を選任が行われ、会長に太田久雄町長、副会長に八島博正町議会議長、中村洋平町内会長、佐藤三郎阿武隈川上流域下水道県北浄化センター環境を守る会会長の3名、理事に町議会議長、町内会長、各方部会担当に配置しました。

- ### 町民会議 推進事業
- (1) 除染活動に関する事。
 - (2) 流域下水道県北浄化センターの汚泥に関する事。
 - (3) 健康管理に関する事。
 - (4) 農作物等の風評被害に関する事。
 - (5) 東京電力株式会社に対する損害賠償請求に関する事。
 - (6) 国への財政支援要望に関する事。
 - (7) 関係機関との連絡・調整並びに情報の収集・提供に関する事。
 - (8) その他目的を達成するために必要な事項に関する事。



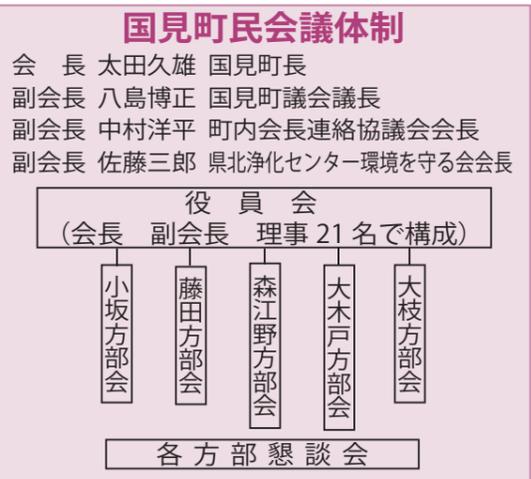
引き続き、復旧・復興に向けた今後の取り組みについて協議が行われ、「除染対策」と「流域下水道県北浄化センター汚泥の全量搬出」を最重要課題とし、これらの対策を進めることにより町民の健康管理や農作物等の風評被害の解消にもつなげ、町の復旧・復興と町民の安全・安心の確保に向けて、町民並びに関係団体の理解と協力を得ながら一丸となつて「オール国見」で取り組みを推進することが承認されました。

町民会議方部会開催

1月16日～18日にかけて各地区の町民会議員を参集しての各地方部会が開催されました。はじめに役員会での決定事項を報告し、協議事項では副方部長の選出や方部懇談会の開催日程などが協議され、別表のとおり決定しました。

方部懇談会日程

方部会	日時	場所
藤田	2月9日(土) 10時～	観月台文化センター大研修室
森江野	2月9日(土) 13時30分～	森江野町民センター
大枝	2月11日(祝) 13時30分～	東部高齢者等活性化センター
大木戸	2月16日(土) 10時～	大木戸ふれあいセンター
小坂	2月16日(土) 13時30分～	小坂農村総合管理センター



方部会役員体制 (敬称略)

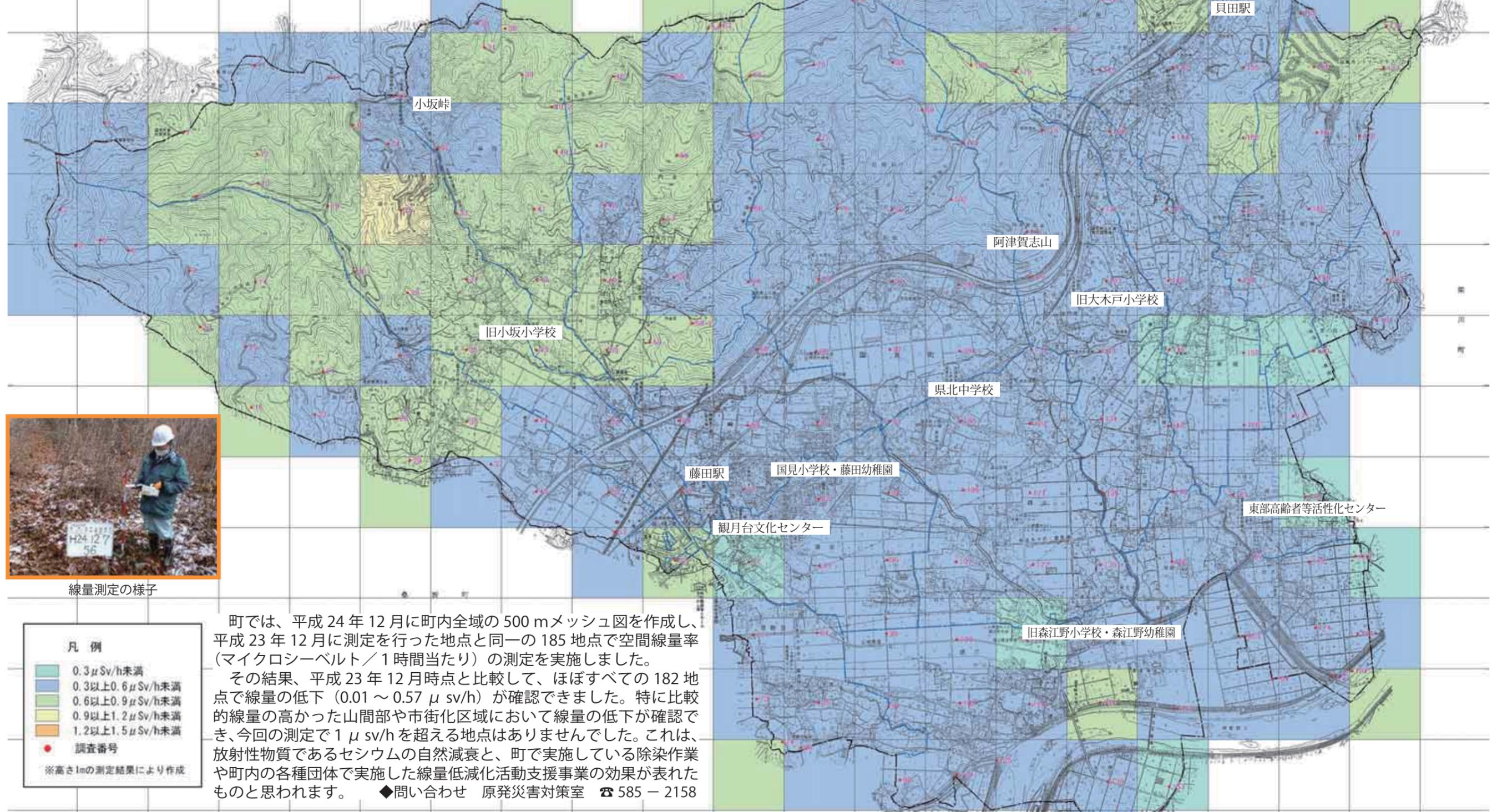
方部会	方部長	副方部長
藤田方部会	中村 洋平	後藤 邦彦
小坂方部会	佐藤 清二	紺野 一
森江野方部会	徳江 昇	村上 正勝
大木戸方部会	渋谷 福重	阿部 初男
大枝方部会	松浦 常雄	鈴木 薫

◆問い合わせ 原発災害対策室 ☎ 585 - 2158

国見町の空間線量マップを更新しました

国見町環境放射線量率測定500mメッシュ図

- 測定箇所
国見町都市計画図(1/10000)をもとに500mメッシュを作成し、昨年度と同地点で185地点を測定
- 測定期間
平成24年12月5日～12月14日
- 測定方法
地上1m地点で測定器を水平に保ち、10秒ごとの測定値を3回読み取り、その平均値を記録
- 測定器
NaIシンチレーションサーベイメータ



線量測定の様子

凡例	
0.3 μ Sv/h未満	
0.3以上0.6 μ Sv/h未満	
0.6以上0.9 μ Sv/h未満	
0.9以上1.2 μ Sv/h未満	
1.2以上1.5 μ Sv/h未満	
●	調査番号
※高さ1mの測定結果により作成	

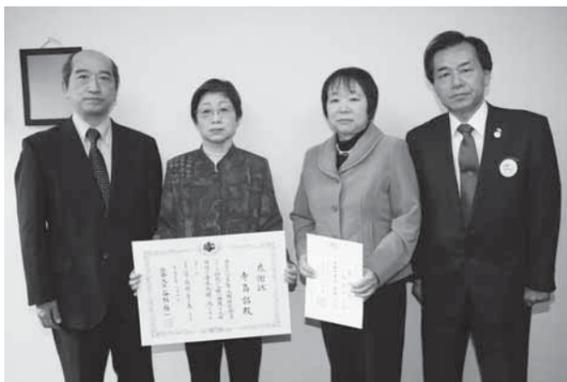
町では、平成24年12月に町内全域の500mメッシュ図を作成し、平成23年12月に測定を行った地点と同一の185地点で空間線量率(マイクロシーベルト/1時間あたり)の測定を実施しました。

その結果、平成23年12月時点と比較して、ほぼすべての182地点で線量の低下(0.01～0.57 μ sv/h)が確認できました。特に比較的線量の高かった山間部や市街化区域において線量の低下が確認でき、今回の測定で1 μ sv/hを超える地点はありませんでした。これは、放射性物質であるセシウムの自然減衰と、町で実施している除染作業や町内の各種団体で実施した線量低減化活動支援事業の効果が表れたものと思われます。 ◆問い合わせ 原発災害対策室 ☎585-2158

まちのわだい

人権擁護のために

佐藤幸子さんへ委嘱状・寺島詔さんへ感謝状



人権擁護委員の委嘱状伝達及び退任委員への感謝状贈呈が1月15日、町役場仮庁舎で行われました。

近間紀夫福島地方務局人権擁護課長から新たに委員となる佐藤幸子さん（第2）に対して法務大臣の委嘱状が伝達されました。任期は1月1日から3年間で、人権相談や人権啓発活動を行い、地域住民へ人権思想の普及高揚に努めます。

また、2期6年間、町の人権相談や啓発など人権擁護活動にご尽力された寺島詔さん（第10）に感謝状が贈呈されました。

※写真右から太田久雄町長、新任の佐藤幸子さん、退任される寺島詔さん、近間紀夫福島地方務局人権擁護課長

町民の安全を守る

国見町消防団出初式



国見町消防団（吉田春夫団長）の出初式が1月6日、上野台運動公園グリーンアリーナ 923 で実施されました。

出初式は、消防団員 180 名と女性防火クラブ員 20 名が参加し、団員の整列状況などを確認する通常点検と機械器具の作動状況を確認する車両点検が行われ、太田久雄町長が検閲しました。

続いて、太田久雄町長より年頭のあいさつ、八島博正町議会議長はじめ来賓の方々より祝辞が述べられ、最後に吉田春夫団長が「常日頃の予防消防が大切」と訓示しました。

心を込めてお届けしました

高齢者へ「おせち料理」の配食



町赤十字奉仕団と町社会福祉協議会は12月27日、一人暮らしの高齢者へ「おせち料理」を届けました。

団員や職員が「A伊達みらい国見会館」などで170食分の調理と盛り付けを行い、各地区の民生児童委員の協力を得て一人暮らしの高齢者世帯へ届けました。

「おせち」には、佐武館剣道場の子もたちが心を込めて作った年賀状が添えられ、高齢者への一足早い新年のプレゼントとなりました。

心を込めてつるし雛作り

2/22～3/17まで大地の恵み館で展示



町内の女性団体の皆さんは1月下旬から2月上旬、ほぼ毎日のように集まり、つるし雛作りを行いました。

心を込めて一つ一つ丁寧に作ったつるし雛は、2月22日から3月17日の期間、くみ浪漫大地の恵み館で展示されます。展示期間中の日曜日には、来場者につるし雛の作り方を教える場を設けます。

開催日 2月22日(金)から3月17日(日)まで
午前9時30分～午後4時
毎週 水・木曜日定休
くみ浪漫大地の恵み館
☎ 585-5812



利便性向上へ 役場仮庁舎へ総合案内を設けました

仮庁舎が設けられている国見町観月台文化センターに、1月4日から総合案内が設置されました。来庁者にわかりやすく案内するため正面入口に設置したもので、同時に仮庁舎内の案内看板も新たに大きな看板へ変更しました。お気軽に声をかけてください。

みんなで聴こう！『ももたんFM』



毎週金曜日 10:00～10:55 ON AIR!

放送局：ふくしまFM 81.8MHz
番組では、皆さんからの情報をお待ちしています。
◆問い合わせ 産業振興課 ☎ 585-2986

第5次振興計画の施策評価について

平成23年度からスタートした第5次国見町振興計画では、まちづくりの基本理念と目指すべき将来像を示し、基本計画の進捗管理を行いながら地域を運営ができる計画と仕組みづくりを目指しています。限られた資源を効果的、効率的に活用し、今後の地域づくりを進めていくものです。

このほか施策評価の成果は、振興計画時には想定されていなかった震災からの復興、放射能対策などの新たな課題についても検討を進めるとともに、新年度の対策に活かすこととしています。なお、毎年実施している町民意識調査（18歳以上の町民2000名を無作為抽出）は、町の指標を図るために大変重要な調査となっています。今後とも町民のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

浄化槽保守点検等を装った詐欺行為にご注意ください

福島県内において、保守点検業者などを装った詐欺行為による被害が多数発生しておりますのでご注意ください。

- ▼詐欺行為の事例
 - △「浄化槽を見に来た」と保守点検業者を装い、勝手に点検し、薬剤の補充等の調整・修理を行いその代金を請求される。
 - △「保健所と共に後日検査に来るが料金は前納」と説明し、料金を請求される。
 - △詐欺行為の情報
 - ▽50歳位の男性が一人で訪問している。（複数名の場合あり）
 - ▽福島ナンバーの白いバンで訪問している。（県南地方の事例）
 - ▽消毒剤のようなものを補充し、2000円程度（最高被害額・44000円）を請求される。
 - ▽2000円程度と低額のため詐欺被害にあったという認識がない場合もある。
 - ▽領収書を発行している場合もあるが、会社名や住所等はすべて架空である。
 - ▽リフォーム会社を名乗る場合がある。（実例・株式会社協和リフォーム）

- ▼少しでも不審に思われた場合には・・・
 - △身分証明書の提示や、名刺を求めると身元を確かめてください。
 - △「必要ありません」と断ってください。
 - △国見町役場上下水道課下水道係に確認してください。
 - △浄化槽の保守点検や清掃は、浄化槽管理者（使用者）と福島県の許可を受けた保守点検業者や清掃業者との間で、業務についての委託契約書を締結して行っておりません。この契約をしていない業者が、勝手に保守点検や清掃を行うことはできません。
 - ※被害に遭わないために、ご自宅の保守点検業者・清掃業者がどこなのか確認してください。
- ◆お問い合わせ
 - 上下水道課下水道係
 - ☎ 585-2984

農業を学びに米国を視察訪問 黒田^{みのる}さんに激励金



県国際農友会の海外派遣事業で1月20日から米国を訪問する黒田^{みのる}さん（泉田下）への激励金交付式が1月15日、町長室で行われました。

黒田さんは、この日一緒に訪れた父の武さんら家族で農業を経営しており、モモ45a、リンゴ80a、サクランボ2a、水稲100aを栽培しています。

交付式では、太田久雄町長が黒田さんに激励金を手渡し、「先進地の農業を学び、町の先導的な役割を果たしてほしい」と激励しました。黒田さんは「農業研修だけでなく、米国の文化・習慣を学んで来たい」と抱負を語りました。

一層の飛躍を誓う 新春賀詞交歓会



新年恒例の賀詞交歓会が1月4日、JA伊達みらい国見会館で開催されました。

初めに、太田久雄町長から「オール国見で平成25年を輝かしい年にしましょう」と挨拶があり、続いて、八島博正議会議長、八島富一JA伊達みらい理事、岡崎長市商工会長より挨拶が述べられた後、中村洋平町内会長連絡協議会長の乾杯の音頭で交換がスタートしました。

この日は、町関係団体、商工会、JA関係者など約150人が出席し、一層の飛躍を誓いながら新年のあいさつを交わしました。

会場では、国見たんがら工房による町の農産物を活用した製品の試食も行われました。

社会を明るくする運動作文表彰受賞 須藤^{れな}麗茄さん（国見小6年）



第62回社会を明るくする運動作文コンテストで福島県推進委員会優秀賞を受賞した須藤麗茄さん（国見小6年）への表彰伝達式が1月25日、国見小学校で行われました。

伝達式では、菅野光広校長や伊達地区保護司会国見支部の保護司の皆さんが見守る中、佐藤好久伊達地区保護司会長が須藤さんに表彰状を手渡しました。

須藤さんは「いじめをなくすためには」をテーマとして作文にしており、「家族と一緒に相談しながら書きました。受賞できてうれしいです。いじめをなくすためには家族や先生にきちんと相談することが大事だと思います」と喜びを語ってくださいました。

防衛大臣から感謝状 国見町自衛隊協力会



国見町自衛隊協力会（三瓶茂会長）は1月11日、同会役員の方々が防衛大臣からの感謝状が贈呈されたことを太田久雄町長に報告しました。

同協力会は、東日本大震災による災害派遣活動で人命救助や生活支援等に献身的な活動を続けている自衛隊員に対し、敬意と感謝を込め福島駐屯地へ激励品を送りました。

これに対し、感謝状が贈呈されたもので、三瓶会長は「今後も協力を続けたい」と話してくださいました。

町の文化財を守るために 文化財防火デー消防訓練



1月26日の文化財防火デーにちなみ、国見町消防団（吉田春夫団長）では1月27日、旧佐藤家住宅など町内5箇所消防訓練を行いました。

訓練では、文化財に指定されている建物などで火災が発生したという想定のもと、放水訓練を実施しました。

団員の皆さんは、常日頃の訓練の成果を発揮し、ポンプ操作などを互いに確認し合いながら、文化財を守るための消防訓練を行いました。

町の復興のために 蕎麦道場地蔵庵が町に寄付



そば愛好者でつくる蕎麦道場地蔵庵（佐藤博之代表）は1月4日、町に1万円の寄付を贈りました。

地蔵庵は、12月23日に小坂太田川コミュニティセンターで開催した新蕎麦まじりの収益の一部を町に寄付したもので、この日は、代表の佐藤博之氏が役場仮庁舎を訪れ、太田久雄町長に善意を手渡しました。

太田町長は「ありがとうございます。必ず復興の役に立てます」とお礼を述べました。

食べて応援！農家の復興支援 国見町の特産物を販売しました



国見を元気にする^{アールP}の会（山中教子・氏家博昭共同代表）は、国見町の特産であるお米（コシヒカリ）、リンゴ、川内産の根菜詰合せ（ゴボウ、ニンジン、長芋、里芋）を注文者へ販売しました。

この取り組みは、国見町の震災復興支援を目的に企画され、国見町のおいしい特産物を販売し、町の農家の販売支援のために行われました。

北海道から宮崎県まで全国各地から、コシヒカリ400kg、りんご74箱（5kg59箱、10kg15箱）、根菜詰合せ55箱の合わせて210件の注文がありました。

町のスポーツ振興のため意見交換 町体協平成24年度事業反省会



国見町体育協会平成24年度事業反省会が1月24日、国見町内で開かれ、平成24年度事業の実績及び平成25年度事業について協議がなされました。

松浦和子町体育協会会長は「今年度は放射能等に悩まされながらも、会員の協力により様々なスポーツ大会やイベントを成功させることが出来た。来年度もスポーツを通して国見町をさらに盛り上げたい」と挨拶し、続いて太田久雄町長が「体協は町のスポーツ振興に欠かせない団体である。体協が頑張っている姿を見せて、国見町の発展に貢献してほしい」と述べられました。会議終了後には、懇親会が行われ、町のスポーツ振興のため活発な意見交換が行われました。

保健 だより

保健福祉課 保健係 ☎ 585--2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

いのちを救う 愛の献血にご協力を!!

3月5日(火)は国見町の献血の日です。

場 所	受付時間
伊達みらい農業協同組合 小坂支店前	午前9時～午前11時
(株)国見メディアデバイス前	午前11時30分～午後1時
公立藤田総合病院夜間休日入口前 (献血される方は一般外来駐車場をご利用ください)	午後2時30分～午後5時



*** ニコニコ相談会 ***

対 象 者	実 施 日	受 付 時 間	会 場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	4月17日(水)	午前10時～ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】 身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。
《持参するもの》 母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒にいれて)を忘れずに!
《申し込み方法》 前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

*** 乳児健診 ***

該 当 児	実 施 日	受 付 時 間	会 場
・3か月児(平成24年12月生まれ) ・9か月児(平成24年6月生まれ)	4月25日(木)	午後1時15分～ 午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】 医師の指導、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて
9か月児は、歯科衛生士による歯に関するお話も予定しています。
《持参するもの》 母子健康手帳を忘れずに!

親子遊び教室

お子さんと一緒にあそんだり、保護者同士で日頃の悩みを話し合ったり、ゆったりとした時間をすごしませんか?

申込の必要はありませんので、ぜひ、親子で気軽に遊びに来てください。

- ◇対 象 町内在住の就学前のお子さんとその保護者
※祖父母の方でも結構です
- ◇日 程 平成25年3月1日(金)
- ◇時 間 9時45分～10時 受付 ※11時30分終了予定
- ◇場 所 観月台文化センター 第一和室



当日は心理士・保育士・保健師 様々な分野のスタッフが待機しております。心配事などがある方は気軽にご相談ください。

※本事業は、福島県主催の被災乳幼児と家族の心のケア事業による心の相談会として、福島県臨床心理士会及び日本ユニセフ協会の協力のもと実施します。

【問い合わせ】保健福祉課 保健係 ☎585-2783



「笑顔のひろば」では、保育所・季節保育所・幼稚園・小学校・中学校の話題を紹介します。

町の史跡を探検・発表 国見小6年「国見町歴史探検隊」



国見小学校6年生は、総合的な学習の時間で「国見町歴史探検隊」と題して、実際に現地を見学し、町の史跡について学びました。現地見学では、町文化財ボランティアの方々の説明を聞きながら、「岩淵遺跡」や「八幡塚古墳」、「阿津賀志山防塁」などの国見町に残る歴史的遺産を見学しました。子どもたちは現地見学で学んだことや、学習の成果を発表することで、町の史跡に対して興味を持ち、理解を深めることができました。

お正月遊びを楽しむ イキイキ子育てクラブ



イキイキ子育てクラブでは1月9日、お正月遊びを行いました。自分達で作ったコマをまわしたり、福笑いに挑戦したりして、お正月ならではの遊びを楽しみました。

自分の限界に挑戦 幼稚園でなわとび大会



藤田幼稚園なわとび大会(1/23)

町内の幼稚園では1月下旬、なわとび大会を開きました。大会では、日頃の練習の成果を発揮しようと必死になわを飛ばす姿が見られました。子どもたちは、自分の目標達成を目指して、みんなの声援を受けながら自分の限界に挑戦していました。



森江野幼稚園なわとび大会(1/21)

美しい音色が響く 県北中で箏演奏会



県北中学校では1月23日、1年生93名が箏演奏会を開きました。毎年、和楽器体験の一環で音楽の授業で取り組んでおり、講師に高橋萩寿々さんを招き練習してきた成果をクラスごとに発表しました。今年は箏だけでなく、三味線も取り入れて民謡「ソーラン節」を演奏し、箏だけの演奏とはまた違った美しい音色が校舎に響き渡りました。生徒たちも「もっとたくさん弾きたかった」と言うくらい和楽器に魅了されていました。

税金の大切さを学ぶ 国見小で租税教室



国見小学校では1月11日、6年生を対象として租税教室を開きました。福島税務署職員より、税金はなぜ必要なのか、何に使われているのかなど税金の大切さを学びました。また、税金の無い世界を再現したビデオを鑑賞したり、選択形式のクイズや1億円の模造紙幣(約10kg)に実際に触れたりする体験をしました。児童たちからは「税金が無いと困ることがわかった。児童たちからは「税金が無いと困ることがわかった。もっと勉強したい」、「身近なものが私たちの税金で使われていることがわかりうれしく思った」などの感想が聞かれ、税金の大切さを実感していました。

くらしの 情報

お知らせ

自動車の登録(移転・変更・抹消)はお済みですか

自動車税は、毎年4月1日(午前零時)現在で車検証に記載されている所有者又は使用者に課税される県税です。譲渡、廃車等により実際に自分が持っていない場合でも、3月末日までに管轄の運輸支局などで所有権の移転、一時抹消等の登録手続きを済ませていないと、引き続き元の所有者に課税されますのでご注意ください。なお、転居したときに住民票を異動させても、車検

証上の住所は一緒に異動しません。自動車税の納税通知書は、車検証上の所有者又は使用者の住所に送付されますので、運輸支局等で住所の変更登録も忘れずに行ってください。また、自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きは2月中に行うなど、できるだけ早めに済ませていただくようお願いいたします。

◆問い合わせ
【登録手続き】

東北運輸局福島運輸支局
☎050-5540-2015
【自動車税に関する事】
福島県北地方振興局県税課第2課自動車税チーム
☎024-523-0051

確定申告・税の無料相談会

東北税理士会福島支部では、2月23日の税理士記念日に合わせ、次のとおり無

料相談会を開催します。で、ご利用ください。

【福島会場】

▼日時 2月23日(土)、24日(日) 午前10時～午後4時
▼場所 ユニックスビル8階(福島駅東口)

【サンライフ福島会場】

▼日時 2月23日(土) 午前10時～午後4時
▼場所 サンライフ福島(福島市北矢野目字壇ノ腰6-16)
◆問い合わせ
東北税理士会福島支部
☎534-3907

西根堰土地改良区農地異動届

伊達西根堰土地改良区費の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。平成25年度の水利費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届け出をしてください。

▼届け出が必要な場合
▼農地の売買などにより所有者が変わったとき
▼地区除外をするとき

▽経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
▽農地の貸借があったとき(水利費の支払義務者を確認してください)
▼届出期間 3月22日(金)まで
▼届出・問い合わせ
伊達西根堰土地改良区
☎582-2319

難病ボランティア養成講座

県北保健福祉事務所では、難病ボランティアの活動に興味がある方を対象として、難病患者や家族と関わるための基本的な知識と技術を習得し、難病ボランティアとして活動できる人材を養成することを目的とした難病ボランティア養成講座を開催します。

▼日時 3月14日(木) 午後1時30分～午後4時
▼場所 福島県北保健福祉事務所 2階大会議室 福島市御山町8番30号
◆問い合わせ
県北保健福祉事務所保健増進課
☎534-4161

ふくしま大卒等合同就職面接会を開催します

平成25年3月に大学等を卒業予定の方、平成22年3月以降に卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正職員で雇用計画のある県内企業との面接会を開催します。参加無料、事前申込不要です。
▼日時 3月12日(火) 直前相談12時～16時 合同就職面接会13時～16時
県内企業30社が参加予定
▼場所 ビッグアイ(郡山市駅前二丁目11番1号)
◆問い合わせ
福島労働局職業安定課
☎529-5396

ふくしま大卒等ジョブフェアを開催します

平成26年3月に大学等を卒業予定の方を対象に、県内企業の企業説明会を開催します。参加無料、事前申込不要です。
【郡山会場】
▼日時 3月4日(月) 就職支援セミナー10時30分～12時 合同企業説明会13時～16時
▼場所 ビッグパレットふくしま(郡山市南二丁目52)
◆問い合わせ 郡山新卒応援ハローワーク
☎024-927-4633
【福島会場】
▼日時 3月18日(月)

「国の教育ローン」災害特例措置

日本政策金融公庫は、高校や大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度「国の教育ローン」を取扱っています。お子さまお1人につき300万円以

▽就職支援セミナー11時～12時 合同企業説明会13時～16時
▼場所 ウエディングエルティ(福島市野田町1-10-41)
◆問い合わせ 福島新卒応援ハローワーク
☎024-534-0466

戸籍の窓口

12月21日～1月20日受付分

●誕生おめでとう●

安藤 禅ちゃん(前田)
陽介さん 満寿美さん
宗像 心愛ちゃん(板橋南)
次男さん 美由紀さん

●おくやみ申し上げます●

秦 定雄さん 85(山崎宮館)
佐藤 俊子さん 86(貝田)
木谷 徳博さん 84(駅前)
佐久間政雄さん 84(第2)
大塚 テルさん 85(駅前)
佐藤 タミさん 72(太田川)
松浦 トリさん 91(築館)
渡邊 英綱さん 67(小坂)
松浦 キミさん 93(光明寺)
佐藤 タツさん 84(泉田中)
佐野 正雄さん 86(光明寺)
齋藤 カネさん 92(宮東)
遠藤 一さん 81(光明寺)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

平成24年12月31日現在
人口 10,067人(△16)
男 4,845人(△9)
女 5,222人(△7)
世帯 3,333世帯(△1)
※広報くみにみでは住民基本台帳人口を掲載しています。

3月の相談会

【心配ごと相談】

・開催日及び相談員
14日(木) 佐久間フミさん 松浦 惣一さん
28日(木) 富塚美貴子さん 井砂のり枝さん
・場所 観月台文化センター 第2和室
・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】

・開催日 19日(火)
・場所 観月台文化センター 保健指導室
・時間 午前10時～午後4時
・相談事業受託者 NPO法人「ひびきの会」

必ずチェック最低賃金!

福島県の最低賃金が変わりました。平成24年10月1日から1時間あたり664円となりました。使用者も労働者も必ずチェックしてください。

◆問い合わせ
福島労働局賃金室
☎536-4604

農業委員会 総会の日程

農業委員会の総会では、農地の貸借や売買、転用、農業行政への建議等を審議します。総会は公開です。傍聴を希望される方は、開会時間までにおいでください。
・日時 2月19日(火) 午後1時30分
・日時 3月22日(金) 午後1時30分
・場所 観月台文化センター 大研修室
◆問い合わせ 農業委員会事務局 ☎585-2890

今月の

納税

国民健康保険税(第8期)
後期高齢者医療保険料(第7期)
介護保険料(第8期)
納期限は…

2月28日(木)です。

町民講座 切り絵教室

東欧の切り絵を基調としたデザインの作品を作ります。
手先を使い脳の活性化にもなります。
趣味の世界を広げて、ぜひお楽しみください。



- 第1回 「切り絵でオシャレ空間①」
簡単にできるオシャレな額飾りを作ります。
日時 3月5日(火) 午前10時～12時
- 第2回 「切り絵でオシャレ空間②」
天井から吊るすモビールを作ります。
日時 3月12日(火) 午前10時～12時

●場所 観月台文化センター 第一会議室
●講師 手工芸愛好家 瓶子美千子 先生
《募集定員》 町内在住及び町内在勤者 15名程度
《準備物》 はさみ、カッター、シャープペン、ホッチキス
《経費》 材料代 500円(全2回)
《申し込み》 2月22日(金)まで下記にお申込み下さい。
電話、メールでの申し込みも受け付けます。
※申し込み多数の場合は、先着順となります。
◆問い合わせ 生涯学習課 ☎585-2676



一生懸命に練習する教室生

箏や三味線を体験！ 子ども和楽器体験教室

子どもたちが和楽器の演奏を体験することで、日本の伝統文化を身近に親しむ

ため、古典鑑賞会(高橋幸子会長)との共催で、9月から2月まで11回にわたり開催しています。
教室には町内の小中学生24名が参加して、会の皆さんのご指導のもと箏や三味線の美しい音色を重ねながら、曲の完成に向けて一生懸命練習しています。
練習の成果は、2月23日に福島市音楽堂で開催される「みんなの音楽会」で披露されます。



楽器作りを楽しむ子どもたち

月に一度の楽しい時間！
1月19日、国見っ子わんぱく広場には、大雪にも負けず23名の児童が出席し楽器作りと演奏に挑戦しました。

パンフルト作りは、ストロークの微妙な長さや配置で音階がずれるため、参加者も指導員も真剣そのものでした。吹き方にもコツがあり、綺麗な音色が出た時は大喜びでした。牛乳パックで作るカズーは、すぐ音が出る楽しい楽器ですが、薄いナイロン袋を輪ゴムで止める作業には悪戦苦闘でした。どちらも集中して手先を使う、良い機会となりました。

「国見っ子わんぱく広場」では現在、小学1年生～3年生の児童45名が楽しく活動しています。コーディネーターの鈴木道代さんを中心に、3名の安全管理員、12

生涯学習 つうしん



国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

行事のお知らせ

- <<2月>>
- 9日(火)ふるさと歴史教室②
(小坂管理センター)
子ども和楽器体験教室⑩
- 14日(木)ハーブ教室③
- 15日(金)成人学級「閉講式」
- 16日(土)少年仲間づくり教室「閉講式」
国見っ子わんぱく広場「お菓子作り」
子ども和楽器体験教室⑪
- 17日(日)家庭の日
- 23日(土)ふるさと歴史教室③
(森江野町民センター)
- 24日(日)国見町スポーツ少年団交流大会
- 25日(月)子ども移動図書館(国見小3年生)
- 26日(火)阿津賀志学級
「閉講式・交通安全大学修了式」
子ども移動図書館(国見小2年生)
- 27日(水)くにみ女性教室「閉講式」
- 28日(木)子ども移動図書館(国見小1年生)
ブックスタート
- <<3月>>
- 2日(土)国見っ子わんぱく広場「閉所式」
- 4日(月)休館日
- 5日(火)切り絵教室①
- 11日(月)子ども移動図書館(国見小3年生)
- 12日(火)切り絵教室②
子ども移動図書館(国見小2年生)
- 14日(木)子ども移動図書館(国見小1年生)



指導員から熱心に指導を受ける参加者の皆さん

いざ白銀のゲレンデへ！
元気つこスキー教室！
雪国ならではのスポーツを体験してもらおうと、1月27日に4年生以上の小学生22名が参加して開催しました。
地域の講師として福島不忘スキークラブからSAJ公認スキー指導員の黒田武さんをお招きし、4班に分かれてレッスンを行いました。
帰りには岳温泉に立ち寄り、慣れないスキー板で疲れた体を温泉に入浴して癒しました。

復興・絆 水野雄仁講演会

元読売巨人軍投手であり、卓越した投球理論とさわやかな語り口、明るいキャラクターで各方面にて活躍中の水野雄仁氏による講演会を行います。

3月16日(土)

◇講演会 13時30分より(13時開場) 観月台文化センター 大研修室
これまでの野球人生で学んだことや復興支援などを中心に豊かな知識と分かりやすさで定評のある水野氏に大いに語っていただきます。
2月15日(金) 午前10時より観月台文化センター窓口にて整理券を配布いたします(入場無料)

◇野球教室 10時30分より 上野台運動公園 総合運動場
国見ソフトボールスポ少・県北中野球部員に水野氏が熱血指導！(見学自由)
(※雨天時はグリーンアリーナ923で行います)

◎水野雄仁(みずの かつひと)氏プロフィール

池田高校時代、甲子園で春夏連覇を果たし、その風ぼうや親しみやすいキャラクターから「阿波の金太郎」の愛称で親しまれた。ドラフト1位で巨人入団。フォークを武器に抜群の度胸と投球術で活躍。
引退後は巨人の投手コーチを経て日本テレビ解説者、スポーツ報知評論家としてTV・ラジオ・新聞などの各種メディアに出演中。



募集！ 国見っ子わんぱく広場の指導員を募集します

子ども好きな方、地域のために何かをしたい方、家庭以外でのわが子やお孫さんの様子を見守りたいお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん。ぜひ、一緒に活動しませんか!!

- 活動場所 観月台文化センター
- 活動時間 午前9時～12時
- 活動日 5月以降月1回(土曜日)ほか特別活動が数回あります。
- 活動内容 レクリエーションや昔遊び、工作活動などの体験活動を一緒に遊びながら、教えたり見守ったりします。

【お問い合わせ】 生涯学習課 ☎585-2676



まちのサークル

子どもたちに

夢を届けます

VOL17

人形劇サークル「エプロン」



プロフィール

- ・代表者 鈴木 道代
- ・活動日 毎週火曜日
午前10時30分～12時
- ・主な活動場所 観月台文化センター
- ・会員数 12名
- ・会費 無
- ・問い合わせ 鈴木 道代 ☎585-3320

舞台を本格的に仕立てて手作り人形劇をやるアマチュアグループはとて珍らしいそうです。人形劇サークル「エプロン」の代表を務める鈴木道代さんは、「子ども連れでもできるママさんのサークルとして、子どもたちや親子さんにも喜んでいただけるボランティア活動として立ち上げました」と話してくださいました。サークル結成のきっかけは平成7年に公民館主催の「子育て教室」の際に、鈴木さんが学生時代にやっていた人形劇などの子どもたちと関わるサークルをまたやりたいと思いい、教室生に呼びかけたのがきっかけです。

活動内容は、主に人形劇の制作・練習・公演を柱とし、メンバーの交流親睦なども行っています。「人形劇の制

作」は、手作りをモットーにしており、台本も音響も人形も小道具、大道具も基本的に手作りです。「練習」は、公演依頼があった時や新作ができた時などに「ああでもないこうでもない」と相談しながら行っているそうです。「公演」は、保育所、幼稚園、育児サークル、公民館をはじめ、町内はもとより福島市など県北地方を中心に活動しています。公演内容は、季節や行事、それに対象年齢に合わせて工夫しており、おはなしの人形劇だけでなく、歌に合わせたもの（ミュージック・シアター）、パネルシアター、小道具を使ったもの、手遊びなどを組み合わせて会場と一体となるように構成されています。

今年で18年目を迎えるメンバーの皆さんは「自分たちも楽しいけれど、それに加え、子どもたちの生の反応を見ることができ、とても喜んでもらえるという感動、充実感もあります。一石二鳥です。練習や公演に参加できるメンバーが減っているのを、一緒に活動できるメンバーを増やし、これからは無理せず楽しく活動していきたいと思っています」と話してくださいました。

子どものことが分かるお母さんたちならではの公演を、多くの子どもたちが楽しみに待っています。



▶ 町内の女性団体が作成した色とりどりのころし雛(19面に関連記事)

小さな天才たち

森江野幼稚園



「自分」
いわぶち ここね(5歳児)



「自分」
いなむら あつき(4歳児)



「自分」
すずき たいき(5歳児)

あとかぎ

東日本大震災からもうすぐ2年。復旧復興対策推進国見町民会議を設立し、オール国見で復興に向かって動き出した町の様子を少しでも町民の皆様にお伝えしようとの思いから「復興のあしおとこのコーナー」を今月号から設けました。何気ない子どもたちの足音から、ふと頭に浮かんだこのタイトルには、復興に向かって一歩一歩着実に歩んでいってほしいとの願いが込められています。復興の「足音」が大きく、そして、近づいてくるように、皆さんとともに歩んでいきましょう。(R.N)